

審査員からのコメント

市民通報システムを利用した歩道の段差の改善
— 高鍋町に潜む段差の原因の調査と改善案の提案 —

本作品は、自転車通行時に道路の段差によって衝撃を受けた身近な体験から発想し、歩道のバリアフリー化という社会的課題の解決へ向けた活動に発展させたものである。まず、歩道に段差が生じる要因を分析し、自治体と連携をとりながら、その解消方法を探っている。解決のためには道路管理者である自治体が危険個所を把握する必要があり、そのための手段として、よくある「危険マップ」作成では持続可能性が低いことから、「市民通報システム」の活用を提案したのは、この活動を一過性ではなく継続的に行っていくうえで非常に有効であったと思う。自治体がこの提案を受け入れ、住民全体が協力して課題解決に向けた取り組みを行うまで継続して活動することを期待する。

